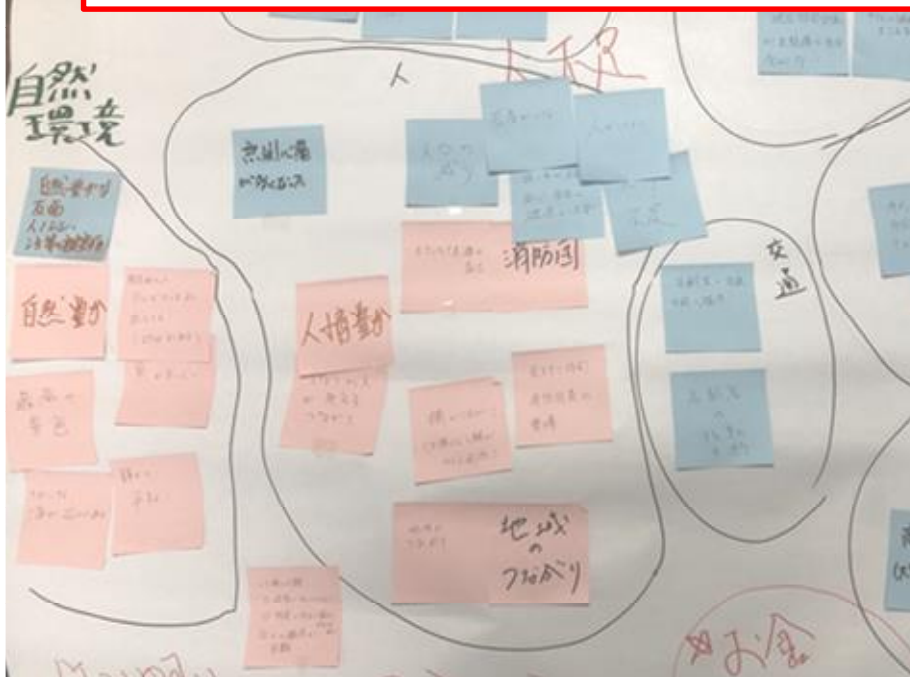


総合計画の策定に向けた 市民・事業者等との意見交換

総合計画の策定に当たり、将来像や施策に市民の皆さんや事業者の皆さんの意見を反映させることを目的に、ふれあい座談会やどこでも市長室、意見交換会、タウンミーティング、市民アンケートを実施しています。



1 ふれあい座談会・どこでも市長室・意見交換会

ふれあい座談会

開催日	対 象	参加者数
11/28	介護福祉施設長	14人
11/29	消防団本部	7人
12/18	福祉施設・事業所職員	19人
1/15	農業生産・加工に携わる皆さん	13人
1/22	森林・林業に携わる皆さん	13人
1/24	宮津オリーブ生産者の会	9人

どこでも市長室

開催日	対 象	参加者数
11/12	宮津観光アテンダントの会	16人
11/26	辻町サロン	18人
1/22	北斗七星会	4人
2/12	たんご由良有志の会	18人
2/25	由良行経クラブ	16人

意見交換会

開催日	対 象	参加者数
5/15	天橋立観光協会	5人
5/18	宮津商工会議所	6人

2 市民の皆さんと考えるタウンミーティング

テーマ（分野）	第1回	第2回	最終	まとめ
①地域経済力が高まるまちづくり (商工・観光・農林水産業)	1/30(木) 21人	2/21(金) 18人	参加者の 皆様から 施策提案	提案された施 策を取りまと めた上で、フ ァシリテータ ーの先生の意 見等を加えて 公表予定
②若者が定住できるまちづくり (住施策、UIターン・子育て支援)	1/29(水) 30人	2/19(水) 20人		
③安全・安心に生活できるまちづ くり(高齢者・障害者福祉、イン フラ・防災)	1/24(金) 24人	2/14(金) 13人		
④ふるさとを大切にするまちづく り(教育・スポーツ、文化芸術)	2/1(土) 26人	2/13(木) 18人		
⑤みんなの宝を共に発信できるま ちづく(歴史文化、環境、魅力発 信・市民協働)	2/3(月) 25人	2/20(木) 19人		
	126人	88人		

2 市民の皆さんと考えるタウンミーティング

タウンミーティング スタートアップアンケート結果



2 市民の皆さんと考えるタウンミーティング

タウンミーティングで出たキーワード

○テーマ1 地域経済力が高まるまちづくり

分野	現状と課題等	アイデア・提案
商工・ 観光・ 農林水産業	<ul style="list-style-type: none"> ・宮津は観光のみ ・商店もなくなっていく、商店街も廃れた。 ・リピーター確保が弱い。 ・農林水産物の知名度が低い。 ・お金が地元に落ちない。 ・宿泊する人が少ない。 ・観光ガイドがない。 ・飲み屋が少ない。 ・外国語対応ができてない。 ・観光客を迎える側の意識改革が必要 ・地元の名物を活かせてない。 ・宮津にあるもの、外の人が求めるものを知る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を利用した観光 ・感動に繋がる体験型観光 ・少人数で体験できる体験型観光を作る。 ・インスタ映えするスポットを作る。 ・夜に外に出て楽しむイベントの実施 ・宮津にしかないイベントの実施 ・外から人を連れてくる。 ・IT分野の誘致 ・今あるものを掛け合わせて、付加価値をつける。 ・農業・漁業の担い手育成が必要 ・顔写真を入れた情報発信の実施 ・情報発信を工夫して、農業・漁業を儲かる産業にしていく。 ・ITとタイニーハウス(小規模安価住宅)で企業誘致と移住を総合的にプロデュース ・「水」に着目した観光振興 ・民間活力による空家・空き店舗の活用推進と移住促進 ・「天橋立」を男女の聖地としてプロモーション ・丹後の自然と暮らしを感じる体験イベントの実施 ・阿蘇海を活用した体験型観光の促進

2 市民の皆さんと考えるタウンミーティング

タウンミーティングで出されたキーワード

○テーマ2 若者が定住できるまちづくり

分野	現状と課題等	アイデア・提案
定住施策、UIターン・子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・やりたい仕事がない。宮津にどのような仕事があるか知らない。 ・親から大学に行ってそのまま都会で就職をと言われる。 ・市役所の施策が見えない。 ・若者が楽しめる場所がない。 ・若者が戻ってこない。 ・地域の作業等が面倒という認識が強い。 ・子どもが遊べるところ、子どもを連れていけるところが少ない。 ・必要な人に情報が届いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今ある仕事の魅力が上がれば人は来る。 ・シングルマザーに移住してもらう。 ・地域行事等に子どもの時から関わり、愛着を持たせ、戻ってきたいと思わせる風土づくり ・移住者が地域に参加しやすい環境づくり ・子どもに「格好いい大人の姿」を見せることで、地元愛を育む。 ・今あるものの機能強化やルール緩和し、組み合わせることで楽しめる場を作るとともに、楽しさをSNS等で伝える。行政はルールの緩和や助言によるサポートを実施 ・職場体験・インターンの機会を増加させる。 ・行政・地域・企業と一緒に「若者が選択してくれるまち」を考える。 ・市主導による企業誘致、工業団体の整備の実施 ・地域住民の負担による地域活動の担い手への報酬制度の創設 ・若い子育て世代を惹きつける施策(オムツ券の発行、光熱水費の補助、自治会業務の軽減等)の実施 ・市内全地域対抗のスポーツイベントの開催。勝った地域に要望を優先的に聞いてもらえる権利を付与 ・市民ができることを登録する市民全員人財センターの創設 ・タウンミーティングのような議論する場を継続して設置 ・「誰もが安らげる場所や空間」を創るため、クラウドファンディングを活用し、図書館の近くにブックカフェをつくる。

2 市民の皆さんと考えるタウンミーティング

タウンミーティングで出されたキーワード

○テーマ3 安全・安心に生活できるまちづくり

分野	現状と課題等	アイデア・提案
高齢者・ 障害者福祉、 インフラ・ 防災	<ul style="list-style-type: none">・地域には色々な活動グループがあるが、グループ同士の繋がりはない。・市からの情報が市民まで伝わってこない。・犯罪から更正後の受入れ体制がない。・福祉現場の人手不足・高校卒業後に宮津を出てしまう。・買い物する場所がない。交通が不便なため足がない高齢者は大変・福祉を充実させるには、地域経済が重要・高齢者の足をどうするかは、重要な課題・宮津市は退職してからのんびりと過ごせる環境	<ul style="list-style-type: none">・様々な人が交流することで、新たな居場所の創出や安全・安心に生活できるまちづくりに繋げる。・地域のイベント減少が地域のつながりの衰退に繋がっているのので、地域でのイベントをやっていく。・福祉現場への外国人労働者の雇用・宮津市の住みやすさをアピールする。・空家を利用した地域の憩いの場づくり・福祉にお金を使うことを厭わず、雇用を生み出し、定住を促進することが大事・空家を活用した高齢者の集いの場の開設及び住民同士の助け合いシステム作り・原発のリスクの最小化を市民みんなで考える場をつくる。・福祉を宮津の基幹産業に位置付け、循環型の経済をつくる。・小型のワンボックスカーを活用した観光客も市民も利用しやすい循環型バスの導入・大学の宿泊を伴うフィールドワーク等の誘致

2 市民の皆さんと考えるタウンミーティング

タウンミーティングで出されたキーワード

○テーマ4 ふるさとを大切にすまちづくり

分野	現状と課題等	アイデア・提案
教育・ スポーツ、 文化芸術	<ul style="list-style-type: none">・人口減少、少子高齢化、若年層の市外への流出・雇用の場が少ない。・地域内の関わりの希薄化・必要な情報発信が不足している。・地域出身者や地域の文化以外を排他的に受け止めがち・空家が活用できていない。・若者世代に元気がない。	<ul style="list-style-type: none">・地域の高齢者が地域の歴史文化等を話す「ふるさと塾」の開講・職業体験の充実・他力本願ではなく、自分のできることを少しずつやってみる。・今ある豊かさに目を向けていく。・子育て支援とからめて、若い家族を呼び込む。・食育を通じて、子どもに宮津の良さを伝える。・地域ぐるみで宮津の魅力を発信・観光専門コースを高校に設置・食育を通じた、1次産業への興味の増進・宮津の強みを活かした世界に通じる教育の実施・コミュニティスクールを活かした地域活性化・地域や人とふれあう機会を増やし、地元愛と学びを深める「ぐるっとみやづ」の実施・青少年育成の場として、丹後全域でのスカウト団の設置・大型観光船が接岸可能な新宮津港の開削により、賑わいを創出・VR等を活用した学校教育の実施

2 市民の皆さんと考えるタウンミーティング

タウンミーティングで出されたキーワード

○テーマ5 みんなの宝を共に発信できるまちづくり

分野	現状と課題等	アイデア・提案
歴史文化、 環境、 魅力発信・ 市民協働	<ul style="list-style-type: none"> ・宮津は全国的に有名なもののルーツ等も多くあるが、活かせていない。歴史文化を知る人を作れていない。 ・天橋立以外のブランディングができていない。 ・子どもの減少 ・店舗の減少 ・人との繋がりが強い地域だが、面倒に感じる面もある。 ・天橋立だけでは、リピーターの確保は難しい。 ・宮津市・日本海側でしか見られないような自然現象や歴史的な建築物等は観光資源として重要 ・若者がコミュニティを築ける場がない。 ・近所づきないが希薄になってきている。 ・人手不足による地域行事等の継承問題 ・都会にない良さがたくさんあるが、少子高齢化が進み昔のような活気がなくなりつつある。 ・宮津で誇れるものは、自然環境や観光産業、祭り等の無形文化 ・やりたい仕事がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宮津を知る人を育てる。そのために、宮津の観光に特化した高校(クラス)を創設する。 ・宮津で新しいプロジェクト等にチャレンジしている人を市内外にアピールするとともに、そういう人とモノを掛け合わせて、観光以外のものを市外に売り出していく。 ・若い人たちが集まってコミュニティを作れる場を作る。 ・地域の魅力発信のため、宮津市版wikipediaを作成し、市民が情報を書き込み ・海を「ブルー」、山を「グリーン」、それ以外を「無色」として、宮津の宝に色でストーリーを持たせ、発信する。 ・頑張っている人の情報発信と併せて、市外に宮津の文化や産業などの魅力を発信するネットワークを作り、情報共有や意見交換できる場を作る。 ・天橋立の維持管理費として、天橋立通行料を創設 ・天橋立に新たなブランドイメージ「恋愛の聖地」を設定し、観光振興に活かす。 ・官民一体型の情報政策発信組織の設立 ・市民一人ひとりができることでコミュニティスクールに参加できるような仕組みづくり ・ふるさと検定を全市民が受検できるようにし、1級を取得したら、市長室で市長からディプロマを授与 ・「宮津すこやか大学」をサークル化し、市民が主体的に活動するようにする。

3 市民アンケート

10年後の宮津をどんな街にしたいですか

5/20～6/18に実施している「市民アンケート」で「10年後に実現したい宮津」について市民の皆さんにお聞きしています。

5月末時点での主な回答は次のとおりです。

【若者定住】

- ・若い人が帰って住んでくれる街
- ・若い人が増えて活気ある街になってほしい。
- ・子育て支援の充実した宮津 若い世代への支援が充実した宮津
- ・若者が、生き活きと生活出来て、子供達の笑い声が聞こえる街
- ・若者たちが地元就職をして帰って来たくくなるような街にしたいです。明るく、元気な街に！
- ・大学生の息子と高校生の娘が、生まれ育った宮津がやっぱりいいなと思ってもらえるような街になれば…と思います。
- ・若者が進学の為、一度都会に出ても、また戻って来たくくなるような、社会づくりが必要だと思います。働き口が無かったり、所得が低かったりするの、マイナスのイメージなので、それを払拭できる何かが必要だと思います！
- ・若者の定住者が増えるように、雇用の充実、子育て支援の充実した街。漁業、農業の担い手を増やし、地場産業が盛んな街。
- ・働く場所が増えて、若者や子どもたちが住みやすい宮津。お年寄りも若者も一緒に楽しく過ごせる宮津になってほしい。
- ・子供が高校を卒業して、都会に出てもいつか宮津に戻って来たい気持ちを持ってもらえるような政策があればと思います。とにかく今の親に、宮津の良さを伝えてほしいとも思います。
- ・市民が自信を持って市外から地縁のない若い人を呼べる街

3 市民アンケート

10年後の宮津をどんな街にしたいですか

【ソフト面(若者定住以外)】

- ・住んでいて良かったと思える街であって欲しいですね。落ち着きのある、一方で、活気溢れる街であって欲しいです。
- ・医療体制を整えて安心して生活出来る街。人情あふれる今の良い人間関係はずっと続いて欲しい。これからも観光で盛り上がって欲しいと思います。
- ・市民が誇れる街
- ・住みやすく、地域民との関わりや地域行事が苦にならない代々が住める街
- ・大きく変わってほしくはないが、スローライフを楽しみつつ、利便性に富んでいる街になることを願います。
- ・人口が少なくても人々が心豊かに暮らしていける街
- ・福祉が各地域で充実しており、孤立感を感じない宮津に。
- ・地域の絆が強く、お互いが助け合えるコミュニティのあるま街
- ・地元の住民が住みやすい市であってほしいです。地元の住民が住み続けられる程度に働く場所、交通機関、保育所、学校等教育機関、医療機関が整っているくらいでいい。
- ・一人一人が役割を持って意識高く生き生きと暮らしている。行政に頼るのではなくて自発的に動く。
- ・住民一人一人が市の問題について自分事としてとらえ、行政・議会だけを批判し自らを省みない風土を撤回する。観光都市としての側面を大きく出すだけでなく、暮らしの確保、持続的に人が集まる仕組みを官民で協力し合って作り出していく街

3 市民アンケート

10年後の宮津をどんな街にしたいですか

【インフラ関係】

- ・ 買い物に他市、他町に出る必要を無くして欲しい 大型店の出店を反対するより誘致して欲しい (市内の商店街を優遇する必要性を感じない)。 反対しても隣町に大型店ができる。その結果、若い人はその町に住居を構えている。本当に若い人が少ない。また福知山と舞鶴へのバイパス道路が必要
- ・ 複合施設等イオンモールのような… 飲食店、スポーツ施設 カフェ等、人が集まれる場所、自然の中にでも、くつろげたりする場所があれば、若い人の定住やUターンも定着するのでは… 。 都会に行かなくても宮津で充分楽しめるような場所になってほしいです。それによって働く場所が増えて行くと思います。
- ・ 飲食チェーン店があり他の地域からも人が集まり舞鶴や福知山のように活気のある街になってほしい。 観光に頼り切りの街からの脱却
- ・ 自分で車を運転しなくても買い物や病院に行ける街
- ・ 人口の数にあったコンパクトな街にしたいです。

【その他】

- ・ 夕張のような街にだけはならないようにしてほしい。 とにかく無駄をはぶく。 若い人の意見を取り入れて必要なことだけを行う。
- ・ 市民の声を聴く場を増やすべきです。
- ・ 現状を考えると10年後の期待ない。